

チームC1

課題挑戦型インターンシップ

東北公益文科大学

近野辰夢 東海林尚也

志藤理央 大竹悠

目次

- ▶ 課題について
- ▶ 背景
- ▶ 解決に向けた考え
- ▶ 解決案
 1. Youtube広告
 2. 大学に市役所職員訪問
 3. 企業に直接訪問
- ▶ 訪問による効果
- ▶ まとめ
- ▶ 参考文献

課題

「庄内地域の18歳・19歳の選挙における
投票率を高めるにはどうしたらよいか」

課題提供機関：庄内総合支庁

背景

庄内地域の投票率現状

▶ 18歳、19歳 グラフ（第25回参議院選投票結果）

	18歳	19歳	18歳.19歳の計	全体の投票率
山形県	42.95	30.43	36.83	60.74
庄内地区	39.01	26.56	33.21	58.17
鶴岡市	41.68	27.06	34.78	58.94
酒田市	35.33	24.54	30.32	56.30

解決に向けた考え

- ▶ 在住地への住民票異動
- ▶ 若者(18歳、19歳)の投票率を上げるにはどうしたらいいか
→ 選挙の意識を高める

解決案

- ▶ Youtube広告
- ▶ 大学に市役所職員訪問
- ▶ 企業に直接訪問



youtube広告

- ▶ めいすい君を使った広告



- ▶ 住民票異動の広告と選挙以降の広告(啓発)にわける

動画・例

(1) 住民票異動



(2) 選挙紹介



大学に訪問

- ▶ 市役所の方が住民票に関する資料を持参
→ 現状、用紙のみ渡している。
- ▶ 大学1年生ガイダンス時（終り頃と考えている）

企業に直接訪問

- ▶ 住民票に関する資料を持参
- ▶ 18歳19歳の方の投票をお願いする
- ▶ 市役所では可能な範囲ではできるとの回答

訪問による効果

▶ 大学

→実際に書いてもらうため、住民票異動に直結する
住民票異動していない人が多い→投票できていない環境

▶ 企業

→社会人になった18・19歳
もともとの住民や働くために来た住民の方に意識を持ってもらう
期日前投票などを呼び掛けて、休みの日などに行ってもらう

まとめ

- ▶ 若者の投票率低下が目立った
→若者の視点で考えることが重要
- ▶ 大学生で住民票を異動していない人が多い
→異動を促すことが必要である

参考文献

- ▶ 庄内総合支庁ホームページ, (2020.11.18) <https://www.pref.yamagata.jp/kensei/shoukai/about/sougoushichou/nyuusatsujouhou/index.html>
- ▶ 政治山 | 山形県, (2020.11.18) <https://seijiyama.jp/lgov/06/>
- ▶ 東北公益文科大学学生アンケート(2020.11.18)
- ▶ 山形県選挙管理委員会, ”選挙の記録“(2020.12.4)
- ▶ 第25回参議院選の年齢階層別投票率(2020.12.4)